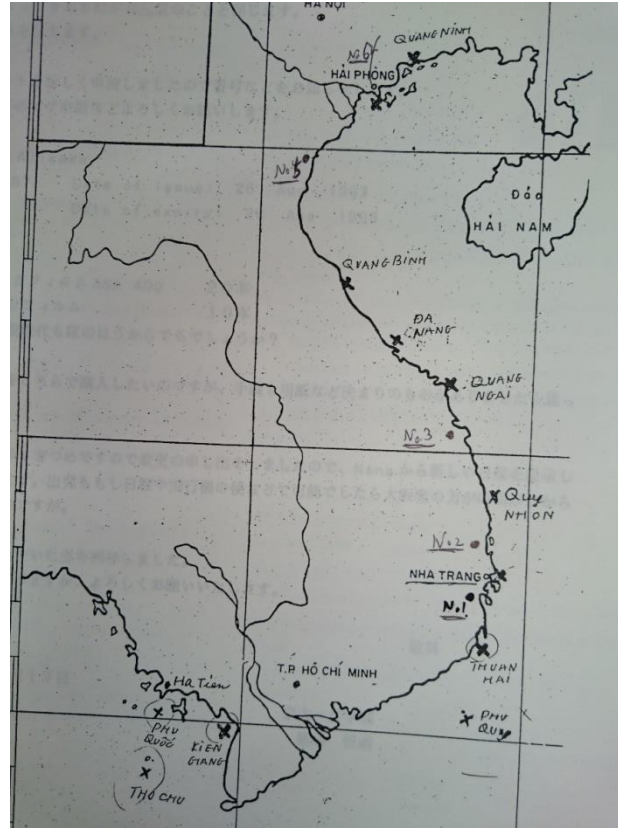


実録ベトナムの1990年代から2017年



1993年2月と1994年2月にベトナム沿岸を踏査

1993年1月と1994年1月の期間、ベトナム沿岸の海藻資源調査と養殖開発試験が、1か月にわたり、南ベトナムと北ベトナムの全沿岸を自動車キャラン隊を編成して、行われた。

それから25年たった2017年に、ナチャンで海藻資源10か年10倍の増大計画があり、そのワークショップに参加したので報告する。



農村に向かうトラック・乗用車兼用



自動車がない頃のホーチミン市内大通り



主要幹線道路・中央分離線がどこでもない



調査隊の定宿・サイゴンホテル国際ホテル



調査隊とドライバー集合写真



このワゴン車で1か月キャラバン調査



よく故障するが、なおるのが、不思議であった



女子高校生は、全国共通の白のアオザイ



市場には何でもあるが、スリも多い。1000円で手に持てないほどの現地札が渡された。札はナップザックに入れて、切られて取られた。



調査の拠点国立材料研究所・1階はレストラン



天秤で、海藻種苗の重量を測量した



沿岸での採集や移動はこの船で行った



街では、自転車と軽オートバイが移動手段
自動車がないのに気づくだろう



中国との国境の街、大型トラックの列、
私設両替店で中国元とベトナム紙幣と交換



夕食の料理が一番の楽しみであった。
食中毒に注意して、きれいなレストランを選んだ
が安い



ホテルの従業員、白いアオザイをきている



ホテルの従業員多くは美人揃いであった

• ベトナム



ベトナム戦争の激戦地メコンデルタ地帯
カントーウ（メコン川）

2017年3月 ハノイのホテルの従業員



ハノイの新開発ビジネス・官庁街 旧市街地と離れて作られた



講演会場にて



ナチャン海岸の屋外コーヒーショップ 観光客はロシア人と中国人



ナチャンの海岸道路分離交通 まだ、オートバイが多かった。自転車はない



ナチャンの海岸 波があり泳いでいない



ナチャンの海岸の高層観光ビル群



ナチャンの町並み（空港での写真・少し古い）





1993年2月海からみたナチャンの海岸

かつて調査拠点にした研究所



研究室



かつてのカウンターパートの自宅にて



かつてのキャンターパートDr. Nang



彼の自宅まえで





ファミリーマートの海苔スナック売り場

ベトナムの現在は日本の1980年代
の活力をみる思いであった。

40年後は、今の日本になるだろう。
なぜなら、ベトナム戦争後のベビーブーム
の赤ん坊達が現在を支え、後に高齢者の
時代が来ると、予測されている。